

平成30年度大野南地区地域活性化事業交付金 交付決定事業の概要と評価

1

申請事業名	防犯・交通安全に関する啓発事業及び支援事業（6年目）
申請団体	特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊
事業目的	JR町田駅周辺の風俗街を復活させない事とともに、周辺地域の防犯や交通安全活動を目的とする。具体的には地域住民やボランティアの協力を得て、週4回の青色パトロールカーに依る啓発活動を行っている。
交付決定日	平成30年4月27日
交付決定額 （事業費）	102,000円（決算204,249円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>防犯・交通安全は市民の安心安全に欠かせない。そのための啓発活動及び行政支援活動を青色灯搭載パトロール車に依り今年度220回行った。頻度は週当たり4日～5日で、1クルー2名あるいは3名が乗務し、録音アナウンスあるいは直接マイクにて防犯や交通安全を呼びかけた。</p> <p>青パトによる防犯啓発活動を末永く継続してゆくためには若い活動参加者を増やすことが課題であり、更に活動隊員募集と広報を目的にホームページを立ち上げ活用している。</p> <p>自己評価</p> <p>振り込め詐欺などの特殊詐欺への啓発活動は、大野南地区全域を拡声器で行っている。一時的なものでなく、発足以来6年間継続して行っていることで、相当に周知されたものと自負している。また、児童の登下校見守りも南大野小学校と鶴園小学校ではなじみの活動と言えるまでになった。特に、青パトを伴っての登下校見守りは、子供たちにも、運転者にとっても安全配慮の面で効果は大きいと思われる。この様子をホームページで紹介することは、全国に発信することであり、防犯ボランティアの参考になればと思っている。</p>
市評価	<p>青色防犯パトロールの実施は、市民が犯罪にあわないように防犯意識を高めていくための効果と、犯罪者に対しての犯罪防止の効果との双方が期待できる有効な手段であると評価できる。</p> <p>今後は自立に向けて、自主財源の確保が期待される。</p>
備考	

申請事業名	相模大野のこどものまち（6年目）
申請団体	相模大野のこどものまち実行委員会
事業目的	イベントを通して、商店や企業を含めた地域と子どもたち、学生との接点を作り、また店舗運営や社会の仕組みを学んでもらうことで未来の相模大野で活躍できる人材を育成したい。
交付決定日	平成30年4月27日
交付決定額 （事業費）	200,000円（決算768,367円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>8月11日及び12日の2日間、「相模大野のこどものまち」を開催した。</p> <p>子どもたちと学生が大きく貢献し、今年度も職業をよりリアルな形とした市役所、大学、ウェブデザイン、消防局、警察署など専門家の協力により取り入れることで当日は多くの子ども青少年たちでにぎわった。</p> <p>自己評価</p> <p>今年はこどものまちOB、OG達が運営に参加し、6年間の活動で培った実践ができていた。今回の経験は特に実社会で役にたつことであろう。また新たにリアルのまちからお好み焼きキッチンカー、スイーツ作り、防災、ラジオ局、Jリーグ、裁判所などの仕事を企画し、専門家へ依頼したためつながりが増えた。こども運営委員たちがまちの課題を考え、解決していくことを積極的に行うことで、よりよいまちづくりが出来ることを気付かせることが出来たであろう。今後は大学という閉塞空間から地域のリアルのまちでのこどものまち開催へむけた活動へ変え、地域のまちの人やファミリーが参加するイベントへ変化させていきたい。</p>
市評価	<p>全国各地で行われる「こどものまち」の大野南地区版として、相模女子大学の学生を中心に、地区内の小中学生や社会人有志で構成された実行委員会により企画運営が行われたもの。相模女子大学との共催により、大学を会場にしながら、相模女子大学の学生やOG等を中心に、1年限りの活動ではなく、学生が主体となって継続的な運営をしていく機運が高まっている。</p> <p>今後は、自立に向けて予算の確保が望まれる。</p>
備考	

申請事業名	地域防災イベント「イザ！カエルキャラバン！in相模大野」(3年目)
申請団体	大野南地区連合自主防災隊
事業目的	発災時の状況を踏まえ、地域の子どもたちにもいざという時に自ら判断し、行動ができるようにするために、これまでなかなか防災訓練に参加しなかった次世代を担う子どもたちや若いファミリー等を対象に、震災時に必要な知恵や技を身につけてもらう「楽しみながら防災を学ぶ」をテーマにしたイベントを開催する。
交付決定日	平成30年7月26日
交付決定額 (事業費)	600,000円(決算772,074円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>平成30年11月10日(土) ボーノ相模大野(ボーノ広場・ボーノウォーク)にて地域防災イベント「イザ！カエルキャラバン！in相模大野」を開催した。過去最多の13の訓練を体験することができ、約700名の親子連れや子ども達の参加で大盛況だった。3回目ということもあり、今年の実施を楽しみにしてくれているリピーターの子供の参加が多く、イベントも知名度があがってきていることを感じた。親子で体験する事により、防災について興味を持ち、防災意識の向上につながっている。家族で防災について話し合うきっかけ作りになるイベントになった。</p> <p>自己評価</p> <p>今年で3回目ということもあり、実施を楽しみにしてくれているリピーターの子供の参加が多く見られ、イベントも知名度があがってきていることを感じた。スタッフも回を重ねる事により指導が上手くなり、アイデアを出しながらより良いものにしていくという意識が感じられた。参加者にも運営スタッフ側にも防災について気軽に体験できる地区のイベントとして定着してきたと感じた。</p>
市評価	<p>今まで、防災訓練に参加することが少なかった子供達や、その親が多く参加し、楽しみながら防災について学ぶことができた。</p> <p>今後は自立に向けて財源の確保が望まれる。</p>
備考	

申請事業名	中和田自治会ホームページ作成事業（１年目）
申請団体	自治会法人 中和田自治会
事業目的	自治会活動の必要性を理解し、自治会組織に加入してもらう。 自治会の仕事の軽減を計る。 自治会会員の隅々まで正しい情報を速やかに伝達する。
交付決定日	平成３０年９月１１日
交付決定額 （事業費）	３７０，０００円（決算５７２，４００円）
団体実績報告	<p>事業実績 自治会活動の様子を記載する事で、事業の周知徹底が計られ参加者が増えた。 役員の会合の時間が減少し、仕事の軽減化が計れた。</p> <p>自己評価 まだ使用方法が充分でなく使いこなすまで至っていないが、多くの方々に自治会を知っていただくという初期の役割は達成したと思われる。</p>
市評価	<p>自治会のホームページを作成したことで、事業の参加者を増やしつつ、仕事の軽減化も達成することができた。 今後は年度が変わってもホームページを定期的に更新する体制を確立し、継続してホームページが活用されることが望まれる。</p>
備考	

申請事業名	交通安全啓発事業（２年目）
申請団体	大野南地区交通安全母の会
事業目的	地域住民や児童に対し視覚的に訴えることで交通安全に対する意識の向上を図り、地域から一件でも交通事故を減らし、安全で安心に暮らすことができる地域にする。
交付決定日	平成３０年１０月４日
交付決定額 （事業費）	１８０，０００円（決算１８１，４４０円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>交通安全の普及・啓発を目的とし、地区内の小中学校の児童・生徒から「交通安全を呼びかけるポスター・標語」の募集を行っており、毎年すばらしい作品が数多く応募されている。入選作品は、南区合同庁舎や公民館、相模原南警察署で展示している他、作品集を作製し関係者に配布しているが、更に自治会の掲示板や地区内小学校等にポスターとして掲示することにより、より多くの方に交通安全について考える機会になるよう、啓発活動に活かしている。</p> <p>自己評価</p> <p>交通安全に対する子ども達の思いが込められたポスターが、大野南地区全体に掲示されることにより、地域一丸となって交通事故防止について考えるきっかけになったと思われる。</p>
市評価	<p>大野南地区は南区内でも交通事故発生件数が多い地区となっており、交通マナーや交通安全に対する意識の向上が課題である。</p> <p>このような中、ポスターを掲示したことで、多くの住民の交通安全に対する意識の向上に貢献したと思われる。</p>
備考	

申請事業名	社会問題啓発エンタテインメントステージ事業（1年目）
申請団体	NPO法人 SoELa
事業目的	心揺すぶるエンタテインメントの手法を用いることで地域の課題を含め社会問題を自分事として捉えてもらい、行動する人々で溢れる地域になるよう啓発活動を行います。地域の課題を多くの方々に発信し、地域活動に無関心な方々が課題を知り、行動に移すきっかけ作りを行う。
交付決定日	平成30年10月4日
交付決定額 （事業費）	100,000円（決算102,903円）
団体実績報告	<p>事業実績 歌とダンスで社会問題を啓発する「Flare SHOW!」を1月22日相模大野ステーションスクエアに特設ステージを設置して実施した。</p> <p>自己評価 今回は、多くの方々をゲストに招き、歌とダンスの間にプレゼンテーションや寸劇を挟み込むスタイルで実施した。準備時間が短い中、事前のリハーサルや練習に時間をかけ、若者からのメッセージを届けられたのではないかと思う。今回は地元の中学生、高校生とは連携できたが、自治会、商店会、PTAなど、まちづくり会議との連携が今後の課題である。</p>
市評価	<p>エンタテインメントの手法を用いることで、これまで地域課題に関心がない方々に、関心を持ってもらえる機会となった。 今後はイベントが定着し、他団体との連携を強化していくことが望まれる。</p>
備考	

申請事業名	地域防災事業（1年目）
申請団体	谷口防災委員会
事業目的	大地震発生後、安全確認ができた家に黄色い小旗を掲示することで、安否確認を容易にし、自助共助を行いやすくする。
交付決定日	平成31年2月26日
交付決定額 （事業費）	500,000円（決算1,177,200円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>3月11日に黄色い小旗を購入し、各町内会長から各世帯に事業内容の説明と配布をしてもらった。</p> <p>自己評価</p> <p>今回、黄色い小旗を導入したことで、大規模地震発生直後の自助、共助がおこないやすくなった。</p> <p>今後も黄色い小旗を活用し、防災力の向上に努めていきたい。</p>
市評価	<p>黄色い小旗を活用することで、大規模地震発生直後の安否確認が容易になる統一的な手段が確保できた。</p> <p>今後は他の地域でも導入されることが望まれる。</p>
備考	